



2019年10月30日

各位

会社名 オンコリスバイオフーマ株式会社  
代表者名 代表取締役社長 浦田 泰生  
(コード番号:4588)  
問合せ先 取締役管理担当 吉村 圭司  
(TEL.03-5472-1578)

## 次世代テロメライシン OBP-702 に関する 岡山大学との業務請負契約締結の件

オンコリスバイオフーマ株式会社(以下、「当社」)は、国立大学法人岡山大学(以下、「岡山大学」)と次世代テロメライシン OBP-702 に関する業務請負契約の締結に関して合意しましたので、お知らせいたします。

当社が開発を進めています OBP-702 は、がんのウイルス療法テロメライシン(OBP-301)の遺伝子構造を一部改変し、多彩ながん抑制機能を有するがん抑制遺伝子 p53 を組み込むことにより武装化させた次世代テロメライシンです。このウイルスはテロメライシンが本来持っている「ウイルス増殖による腫瘍溶解作用」と、組み込んだ p53 遺伝子による「がん細胞が増えるのを止めたり、がん化した細胞を自然死(アポトーシス)させたり、がんに対する免疫を強くしたりするなどの作用」の双方の効果を発現させることにより、より強力な抗腫瘍効果を示すことが期待されています。

現在、岡山大学大学院医歯薬学総合研究科藤原俊義教授の研究グループでは、国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の助成を受け、OBP-702 の実用化に向けた前臨床試験を進めています。今回、当社は岡山大学からの委託を受け、次世代テロメライシン OBP-702 の前臨床試験のうち、製造法並びに品質試験法の開発検討を受託することになりました。

当社は今後、次世代テロメライシン OBP-702 の研究開発を促進させ、2022 年までに臨床試験開始を目指していきます。

なお、本件に関する収入は、2020 年 12 月期業績への寄与を見込んでいます。

以上